



平成30年9月21日
内閣府沖縄担当部局

平成30年度北部振興事業の実施について（第5回）

1. 事業の概要

沖縄県及び北部市町村の要望に基づき、定住条件の整備、産業の振興に資する事業を実施。

2. 今回配分の状況（国費ベース）

| | |
|----------------------|--|
| 非 公 共 事 業 | |
| 継 続 1 事 業 | |
| 新 規 2 事 業 | |
| 今 回 配 分 額 1. 6 7 億 円 | |

（参考）前回の配分（6月26日）と合算した
配分額合計

◇非公共事業 24.72億円

◇公共事業 23.07億円

※詳細は別添資料のとおり

（参 考）

<予算計上>

○沖縄北部連携促進特別振興事業費（非公共事業）

平成30年度予算額25.7億円

・補助率：8／10

<今回の配分の考え方>

○沖縄県の均衡ある発展を図る観点から北部地域の振興に資する事業に対し配分する。

○配分対象の事業は、北部12市町村から北部地域の振興に資するものとして要望されたもの。

問合せ先

政策統括官（沖縄政策担当）付

（担当 藏本、大田）

電話 03-6257-1693

FAX 03-3581-9761

平成30年度に実施する振興事業について

平成30年9月21日

【非公共事業】

テーマ：産業の振興

〔継続〕

| 事業名 (事業主体) | 計画期間 | 30年度事業費 (うち国費) |
|--|-----------------------|-------------------|
| やんばる3村観光連携推進事業 (東部周遊拠点施設整備) (国頭村) | 平成29年度 ～ 平成31年度 | 74百万円 (60百万円) |
| <p>やんばる3村(国頭村、大宜味村、東村)では、統一テーマ「やんばる生命の森コリドー(回廊)の形成」を設定し、やんばる3村を一つのテーマパークと捉え、拠点形成とネットワーク化を目指しているところであり、国頭村の東海岸側に、自然体験機能や自然・文化の魅力を発信する案内所、特産品の販売、飲食機能を備えた観光拠点施設を整備することで、新たな周遊観光ルートを創設し、観光客の周遊・滞在・消費型観光を促進する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p> | | |

〔新規〕

| 事業名 (事業主体) | 計画期間 | 30年度事業費 (うち国費) |
|---|-----------------------|-------------------|
| 北部広域ネットワーク機能強化事業 (北部広域市町村圏事務組合) | 平成30年度 ～ 平成33年度 | 45百万円 (36百万円) |
| <p>北部広域ネットワークの国頭延伸を実現することで北部12市町村がつながることとなり、安定したネットワーク環境が構築される。さらに北部地域の観光拠点をWi-Fiで結び、サイネージやアプリケーションを活用した観光情報の連携強化を行うことで北部地域での周遊を促すとともに、観光利便性の向上や外国人観光客の受入体制の強化を図り、北部地域全体の観光産業の振興・充実による地域活性化を促進する。また、離島やへき地でのビデオ会議を活用した学習機会の創出、産学官連携による異文化交流を図り、北部地域の教育環境の充実による定住環境の向上を促進する。</p> <p>(担当省庁) 総務省</p> | | |

テーマ：定住条件の整備

〔新規〕

| 事業名 (事業主体) | 計画期間 | 30年度事業費 (うち国費) |
|---|--------|-------------------|
| やんばる3村消防機能強化事業 (国頭地区行政事務組合) | 平成30年度 | 88百万円 (71百万円) |
| <p>やんばる3村の救急・防災を担う国頭地区行政事務組合の消防車両を機能高度化することにより、集落が点在する地域はもとより、広大な山林等、消火活動に困難が伴う地域の迅速な消火活動が可能となり、また、無人航空機を導入することにより、火元状況の迅速な把握による延焼防止や山岳、海上での要救助者の早期発見・救助も可能になり、地域の安全・安心を確保することで定住条件の整備に資する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p> | | |

平成30年度 北部振興事業(非公共)(5次配分)配分事業箇所位置図

